冬の朝の転倒 点検表(12〜2月)

印刷・社内配布 自由

厚労省のデータ(令和元〜6年の転倒 202,318人)では、1〜2月の5〜9時の転倒は春〜秋の同じ時刻の1.9倍。
点検は「朝いちばん・始業前」に。点検した人と時刻を書く。

		月/日	月/日	月/日	月/日
駐車場	車を降りる場所・通路に凍結がない(融雪剤・砂をまいた)				
	通路の雪かきが済み、照明が点いている				
坂・階段・スロープ	手すりが両側にある/使える(雪で埋まっていない)				
	段の端(段鼻)が見える・滑り止めがはがれていない				
出入口	マットが置いてあり、めくれていない				
	床がぬれていない(雪どけ水をふいた)				
屋内の通路	物が置かれていない・コードが横切っていない				
	冷蔵室・洗い場の前の床がぬれていない				
人と靴	滑りにくい靴に履き替えた/氷用の滑り止めを配った				
	両手に荷を持って歩かない(台車・リュック)				
ルール	急がなくてよい出勤の時刻・動線を決めて周知した				
	転んだ・転びかけたは小さくても報告する				

点検した人:_____ 時刻:____ 気づいたこと:_____

対策の順番:1 設備で消す(床・屋根・融雪・手すり) → 2 管理で避ける(動線・時刻) → 3 保護具で補う(靴)。人の注意は最後。

出典:厚生労働省 労働者死傷病報告オープンデータ(職場のあんぜんサイト)を安全衛生ずかんが集計。https://anzen-zukan.jp/tentou-saigai-toukei/

この点検表は社内での印刷・配布・書き換えが自由です。販売・ほかのサイトへの転載はご遠慮ください。安全衛生ずかん anzen-zukan.jp